



もとみや

議会だより

第15号
平成22年1月発行

条例改正・補正予算を審議

2P～

委員会審査・視察研修報告

4P～

ここが聞きたい

12議員が一般質問

8P～

声-議会傍聴に行ってきました-

16P

12月定例会



真剣に書きあげました

(第1回本宮ふれあい書き初め大会・白沢会場)

一般会計補正予算 3億2,367万9千円を追加

12月定例会（第9回本宮市議会定例会）は、市長から条例改正や各種会計の補正予算など議案8件と報告1件が提出されました。

また、最終日には各常任委員会から閉会中継続調査申出書が提出され、全て原案どおり可決しました。

人工衛星を経由した 全国瞬時警報システムを整備

主な議案

一般会計補正予算

一般会計の補正は、3億2,367万9千円を追加し、総額を136億4,087万1千円としました。

補正増の主なものは、①地震等の緊急情報を人工衛星を経由し、国から市町村等の住民へ瞬時に伝達する全国瞬時警報システムの整備②国の福祉に関する交付金が市を経由しNPO法人へ交付する交付金③多目的交通・市内巡回バスの地域交通対策事業など市民生活の安心・安全

や早期に実施すべき事業への予算計上を行いました。財源の主なものは、国・県からの交付金などです。



瞬時警報システムが付加される操作盤

歳出補正の主なもの

- 地域交通対策事業に 663万円
- 全国瞬時警報システム整備に 900万円
- 小学生医療費助成事業に 1,199万円
- 地域介護・福祉空間整備交付金事業に 3,000万円
- 複合施設整備事業に 22,000万円

国民健康保険特別会計
補正予算

事業勘定の一般療養給付費の給付実績から今後、医療費が予算額を上回る見込みとなったことから、3,082万1千円、直営診療施設勘定も、21万6千円を追加しました。

後期高齢者医療特別会計補正予算

県の後期高齢者医療広域連合が行う健康診査では、生活習慣病で通院中の方などは健康診査の対象外となることから、対象外となる方にも市独自で健康診査を行うため、371万円を一般会計から繰り入れました。

市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

本宮市環境基本条例に基づく環境審議会委員に対する報酬を新たに定め、口座振替や

報酬年額が1万円以下の場合には、年度末に一括して支給できるように改正しました。

市立幼稚園条例の一部を改正

国の幼稚園設置基準及び市立幼稚園管理規則の学級編成の規定に基づき、1クラス当たりの定員を35人に統一しま

した。

この条例の施行日は、平成22年4月1日です。



先生できました (岩根幼稚園参観日・年長組の陶芸作り)

市長諸報告

阿武隈川左岸築堤事業の進捗について

Aゾーン(百目川から昭代橋)、C-2ゾーン(防災センター付近から鳴瀬地区)で用地協議を進めています。

Aゾーンでは10月中旬に本宮幼稚園東側付近で補償物件の解体と築堤工事に利用する通路が設置されました。

その他のゾーンでは今後、設計案がまとまり次第、「地区毎の意見を聴く会」を開催する予定です。

期成同盟会が要望活動

地元選出国會議員並びに国土交通省に対し、阿武隈川本築堤の早期完成のための要望活動を行いました。

第8回臨時会

【11月27日開催】

人事院勧告に基づき、議会議員、市長等の特別職の期末手当の年間支給割合を、現行から0.25月分引き下げ、3.05月とするため条例の一部を改正しました。

また、一般職員の住居手当の廃止と、期末勤勉手当の年間支給割合を0.38月分引き下げ、さらに給料表に定める給料月額も0.14%引き下げました。

【お詫びと訂正】

前回発行の、議会だより第14号3ページの平成20年度末債務残高表中において、工業用地造成事業の平成19年度末比較を「△25,575,679」千円と掲載しましたが、正しくは「△643,008」千円でした。お詫びして訂正します。

常任委員会審査

総務文教常任委員会には、一般会計補正予算のほか2件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

今後の財政調整基金の適正規模の捉え方は。

回答

工業用地造成事業償還基金や国保税額の統一等の財源として予定しているため、若干の上積みも必要と考える。

意見

住民サービスや国保税の影響に配慮し、基金の適正な管理運営をすべき。

市立幼稚園条例の一部を改正

質疑

小中学校の少人数学級編制を進めている中で、幼稚園についても、少人数編制

とすべきではないか。

回答

国基準の35人定員としたが、運用の中で30人定員とするよう努めたい。



現地調査（岩根幼稚園園舎増築工事）

視察研修報告

研修項目

- ・愛知県豊田市における学校はつらつ支援事業
- ・滋賀県高島市における幼保一元化事業

期日 10月28日～30日

場所 愛知県豊田市
滋賀県高島市

研修結果

【愛知県豊田市】

・学校はつらつ支援事業

豊田市では、学校図書館司書や体力向上補助指導員、学級補助指導員など、授業・学級経営・教育環境づくりを支援する補助員を配置しています。

この配置が必ずしも学校の実情やニーズに応じた配置となっていない場合があり、学校の特色ある教育活動を進めるために、従来の教育委員会配置補助員に加え、「学校はつらつ支援事業」に平成20年度より取り組んでいます。

配置補助員の区分は8種類あり、この中から原則1種類選択することになっており、1校あたりの経費限度額は50万円となっています。

本市においては、学校用務員や特別支援員、心の相談員となるスクールソーシャルワーカーなど教育委員会で判断し臨時職員を配置しており、豊田市のような学校裁量でメニューから選択できる補助員配置な

ど、学校の創意工夫を生かした特色ある学校づくりのため、よりよい人的支援の方策を検討していくことは必要であると感じました。

【滋賀県高島市】

・幼保一元化事業

高島市は、国の「幼稚園と保育所の施設の共用化等に関する指針」を受け、施設が老朽化していたこともあり、保育と教育の一元化を図った一体化された施設を整備しています。

また、市の乳幼児検討委員会からの意見具申に基づき、「乳幼児保育・教育共通カリキュラム」を作成し、平成21年度から市内全ての園で実践しています。

保育料は、幼稚園と保育所の保育時間の差を按分する、保育時間に比例した保育料設定により不公平感の解消を図っています。また、幼稚園についても、保育所と同様、所得税・市民税の階層区分により保育料を決定し、給食費も含んだ保育料としています。

本宮市の幼保一元化は、統一カリキュラムを設定



高島市の保育所と幼稚園の複合施設大師山さくら園

し、幼保統合までは進んでいますが、合同施設での保育については計画されておらず、現状の施設を利用しているため、施設整備については、今後、建て替え等のある時期に、市民ニーズを十分に把握し実行すべきであると考えます。

市の現状をよく捉え、就学前の教育・保育の充実、及び少子化対策の施策の上からも、克服可能なものを洗い出し、順に取り組んでいかなければならないと感じました。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、一般会計補正予算のほか3件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

防火水槽等の消防用施設用地の確保の方法は。

回答

用地取得や賃貸契約を行うなど、場所により様々である。賃貸の場合、土地所有者から返却の求めがあった際、防火水槽から消火栓へ切替える場合がある。

意見

今後の消防用施設用地の取得に関しては、統一した考えで臨むべき。

質疑

増加し続ける生活保護扶助費の対応策は。

回答

生活保護者であっても、自立支援医療や介護保険サービス等、他法制度を活用できるものは積極的活用を促し、生活保護費の負担を抑えたい。

国民健康保険特別会計補正予算

質疑

国保税滞納者の実態と収納対策の取り組み状況は。

回答

8月末現在の滞納者数は約700件。その後、納付交渉、短期被保険者証交付等の収納対策を行い、最終的には約200件程度まで減少する見込みである。

担保能力がありながら納付に応じない滞納者には、保険給付を一時的に停止する資格証の交付を行っている。

視察研修報告

研修項目

- ・三重県四日市市における健康増進事業
- ・京都府精華町における子育て支援事業

期日 10月28日～30日
場所 三重県四日市市
京都府精華町

研修結果

〔三重県四日市市〕

・健康増進事業
本市が今年から取り組んでいる、健康力アップ応援事業のモデルとなったのが四日市市ヘルスアップ事業です。

肥満、脂質代謝異常、糖尿病の対策が最も必要とされる40～79歳の年代を対象にスロー筋トレ運動を実践しています。参加者の呼び掛けから教室終了時に至るまで、参加者本位の工夫が随所にみられます。その例が「事業周知のあり方」

「随時レクリエーションを取り入れ、楽しみながら続けるための配慮」、「各回アングレットを通した手法の改善」、「セルフチェックシート」の活用」などです。結果として、教室終了時において、体重、腹囲、内臓脂肪

面積、大腿筋厚、膝関節伸展力に対して改善効果が得られたこと。更に、医療費抑制効果として、中年層で年間約11万円、高齢層で約17万円の削減効果が立証されました。

健康増進事業は、より多くの人々に存在を認知してもらい、実践を通して自分の健康は自分で守っていく意識を抱いてもらうことで「医療費抑制」や「健康寿命の延伸」といった効果が引き出せるものと考えます。

ステキに大変身した参加者に喜びを実感してもらうことが重要で、次第に人から人へと健康意識の連鎖が広まっていくものと思われまます。

本市においても、工夫や改善に努め、市民へ波及効果をもたらす事業となることを期待します。

〔京都府精華町〕

・子育て支援事業

精華町は、人口増加率で日本一を記録した町です。また、昭和43年に「子どもを守る町」宣言を行い、以降、子育てのまちづくりを積極的に進めています。

精華町の取り組みは、人口増加を図るための子育て



精華町役場にて

支援ではなく、町に移住した若い世帯が安心して定住していくための政策です。保育施策における「待機児童ゼロ計画」のほか、地域子育て支援センターを拠点として実施する各種子育て支援事業のメニュー数の多さは圧巻であり、利用率も高い水準です。「子育て支援パートナー」と呼ばれるボランティアの活用も積極的であり、町独自の養成講座も実施されているなど、参考となる事例が多々ありました。

本市も、「次世代育成支援行動後期計画」が策定されています。えぼかを拠点に、健康づくり・子育て支援・多世代交流の推進が図られようとしています。具体策の提案と早急な実施が不可欠です。

産業商工常任委員会には、一般会計補正予算の議案1件が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

新交通システムの利用者が、当初の見込みを下回っている要因は何か。

回答

巡回バスは、朝の利用が多いが、1台で運行するため、朝、一斉に運行することはできない。デマンドタクシーは、本宮地区においては、一部路線バスが運行していることや、路線バスと料金の格差があることなどが考えられる。

今後は、高齢者を対象としたふれあいサロンでの周知や、各種催しの際に利用促進のPRに努めたい。

質疑

通学バスの利用状況は。

回答

開始当初は1日8人程度の利用であったが、現在は23人ほどで、増加傾向にある。



現地調査（カシノナガキクイムシ被害状況…岩根地区）

り、ほぼ当初の見込みどおりの利用である。

意見

巡回バスやデマンドタクシーは、交通弱者の足を守ることを目的としており、費用対効果だけを求めることなく、公共性の面から、今後も最善の方策を模索し継続すべきである。また、事業の費用は妥当であるが、運営主体の市商工会と連携を密にし、利用客数増に向け、より一層の努力が必要である。高齢者の利用が多いことからオペレータの対応にも配慮が必要である。

視察研修報告

研修項目

- ・兵庫県神戸市における企業の農業参入状況
 - ・広島県府中市における市街地活性化事業
- 期日 11月4日～6日
場所 兵庫県神戸市
広島県府中市

研修結果

〔兵庫県神戸市〕

・企業の農業参入

これからの農漁業について、5年間程度の農政の基本方針を示し、市民と共有することが重要になってきたため、新たな発想で、自立の精神の下に選択と集中の観点に立った戦略的な「神戸市農漁業ビジョン2010」を策定しました。

今後は、一般企業の農業参入に対する対応は、農地の保護の観点から政策を進め、農地を効率的に利用できるか、地域活動への参加の意欲はあるか、農業に常時従事する者はいるかなど、厳しく監視を行う予定ですが、思うように進まないのが現状のようです。

遊休農地対策や担い手育成には、地域と農業参入者のコミュニケーションを市が積極的に橋渡しすることも解決の一つと考えられます。また、企業の参入は、市として農地保護の観点から、参入企業への厳格な対応が必要ですが、一方では、企業支援の立場から借入農地の集約化や農業経営のノウハウの提供などが必要であると感じました。

〔広島県府中市〕

・市街地活性化事業

明治後期から企業立地が進み、早くから中心市街地としての機能が集積していました。現在も市役所をは



広島県府中市役所にて

じめとした公共施設や大型商業施設などさまざまな都市機能が集積しています。旧中心市街地活性化基本計画の反省から、平成19年5月に策定した新基本計画に掲げる事業については、十分な検討を重ね、実施可能なものとなりました。事業実施にあたっては、国の支援措置を十分活用していただきました。特に統合小中学校の建設では、小中学校の交流を深めるため道路で隔てられている両校舎を通路でつないだことや、4つの小学校の統合などは特筆すべき点でありました。街並み環境整備事業では、宿場町として賑わった当時の雰囲気復活させようと、街道沿いの民家に補助を行い、統一された色調のま

ちづくりが成功してまいりました。本市でも、他地域同様、市街地空洞化の厳しい現状下にあります。駅前開発を契機に、賑わいのあるまちづくりをしてまいります。

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、一般会計補正予算のほか2件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

合併処理浄化槽の維持管理費補助金申請の見込み件数は。

回答

平成19年度に394件、20年度に363件の申請実績がある。今年度は約390件の申請を見込んでいます。

質疑

道路等事業用地取得に伴う残地の取り扱い。

回答

残地の取得は、基本的に残地に行っていないが、残地に対する補償として、機能性や利便性の低下を勘案し、残地補償を行っている。

公共下水道事業特別会計補正予算

質疑

流域下水道建設負担金の

内容は。

回答

流域下水道県中浄化センター等における各施設の拡張や修繕に要する経費のうち、関係市町で按分した応分の負担である。



現地調査（市道改良要望箇所）

視察研修報告

研修項目

- ・大分県別府市における都市再生整備計画事業
- ・福岡県直方市における床上浸水対策特別緊急事業

期日 11月10日～12日

場所 大分県別府市

福岡県直方市

研修結果

【大分県別府市】

・都市再生整備計画

観光拠点都市として発展してきましたが、観光客は年々減少傾向にあり、特に商業集積地である中心市街地の客数の減少、空き地や空き店舗の増加による商業機能の低下、空洞化が深刻な問題になっていました。

そのため、平成17年度から別府駅周辺地区の91haを区域とした別府駅周辺地区都市再生整備計画を作成し、「別府の玄関口としてふさわしい景観整備」、「民間活力の効率的利用」、「別府駅周辺地区において観光客とのふれあい」、「歩いて楽しめるまちづくり」の4つを整備方針として掲げ、各種事業を行っています。

主な事業としては、別府駅東西駅前広場整備、駐輪場整備、公衆便所整備などに取り組んでおり、高齢者や身体障害者の利用に配慮したバリアフリー化、さらに別府の玄関口としてふさわしい景観整備を行いながら、中心市街地の魅力と活力の向上に努めています。その他の施策としては、

平成16年度に交通バリアフリー法に基づいた「別府市交通バリアフリー基本構想」を策定し、別府駅と亀川駅を重点整備地区として定め、関係機関であるJR九州と継続的に協議を行いながら、賑わいのある福祉と観光のまちづくりを進めています。

【福岡県直方市】

・床上浸水対策緊急事業

直方駅を中心に古くから慢性的な内水被害が発生するまちで、中心市街地の安全で安心な市街地形成を図るためにも、内水被害の軽減が強く求められています。このことから平成17年度より、直方市と福岡県・国土交通省が連携を図り、安全な中心市街地形成を目的に、直方中心市街地浸水対策連携協議会を発足させ、完成時期や費用負担等を十分協議・検討した上で本事業に取り組んでいます。

事業内容としては、直方市と国土交通省で施工箇所を区分しており、直方市では放水路、国土交通省では排水ポンプ場、グラウンド



大分県別府市役所にて

地下貯水池を整備しています。

この事業は、10年確率での降雨量による床上浸水被害の軽減を目的としているため、今後は、床上浸水被害やゲリラ豪雨にも対応できる対策を関係機関と継続的に協議・検討を行うべくとのことです。

今回視察研修した別府市・直方市における事業への取り組み方や考え方は大いに参考になるものであり、本市でも現在進めている、都市再生整備計画事業や阿武隈川左岸地区築堤事業の事業促進を図りながら、賑わいのある安全で安心なまちが実現できるように努めていきます。

一般質問

市政を問う

12 議員が登壇



市街地空洞化に歯止めを

問 駅前の店舗が移転するという。東口駅前広場など、まちづくり交付金事業等で、公共資本投資がなされ、街並みを整備すれば空洞化は防げるのか。また、車社会の今日、駅利用の促進では、効果は期待できないと思うが。



Q

A 中心市街地の空洞化は防げるのか
投資効果は目に見えて多くは出ない

渡辺 秀雄
議員

答 何とか賑わいづくりをする方向で、ハード的な事業を展開しているが、投資効果というものはなかなか目に見えて多くは出てこない。駅は街の顔であり、難しい状況にあるが、中心市街地に多くの人たちが集まれるような地域づくりのため努めていきたい。

【初代市長として公約実現度合いは】

問 本宮市の初代市長として、市政執行にあたって3年になろうとしているが、掲げた5つの重点政策について、それぞれの政策の実現度合いを自らどう判断しているか。

【財政問題はハードルを越えた】

答 多くの皆様のおかげで丸3年を経過しようとしている。5つの項目のうち、財政問題がひとつのハードルを越えたのは大きい。そのほか、進み具合に差はあるが進んでいる。市民の幸せのために、さらに努力していきたい。

問 生きるために働くその基盤がない時代だ。失業者が増大し、新卒の就職内定も深刻である。年の瀬を迎え、市内の大手企業でも正規職員の解雇等々深刻な話を聞く。実態の把握状況と生活活動など相談ができる対策をすべきでは。



Q
A **正規・新卒の雇用不安はさらに深刻
相談窓口をPRし進める**

島田和夫
議員

答 雇用の相談はハローワークの情報に頼らざるを得ない状況であるが、相談窓口の設置状況をPRし進める。また、新卒者の雇用は、県より緊急雇用創出基金の使用を前向きに検討するという回答をいただいている。

【保育所持機児童ゼロ対策は】
問 子どもを取り巻く環境に、引きこもりなど家庭内の深刻な問題が増えている。根本に、若者世帯の貧困格差社会がある。その解消に保育所持機児童ゼロ対策と低料金対策が大切だ。潜在的待機も含め経済支援からの保育充実を。

【プロジェクトチームで検討している】
答 待機児童ゼロに向け、保育サービスの利用拡大など次世代育成支援行動計画推進プロジェクトチームで検討している。保育所と幼稚園の料金の格差の問題は、プロジェクトチームの経過も踏まえ検討していく。



楽しい余興に盛り上がりました（高木地区敬老会）

問 ①金・人の非効率な配分を生むコストに合わないニーズの低い箱物施設は、今後原則つくるべきではないと思うが考えは。②借金利子約69億円の民間銀行への見直しや減額交渉は。③敬老会に小学校の給食を採用し、提供しては。

答 ①新たな行政サービスを行う場合、必ずしも新たな施設を設ける必要はないと考える。箱物は慎重に検討する。②制約等があるが、内容を検討しながら今後実施していく。③現時点での考えは持っていないが、地産地消の観点から内部で調査していく。



Q
A **予算の無駄を見つけ、なくす努力を
予算査定で判断する**

栄
藤次
議員

【幼保一元化の推進は】
問 ①子育てに対し、負担を軽減する子ども手当の所見は。②待機児童解消のため、民間へゆだねることも方法のひとつ。認可保育園及び認可外保育園に対し整備費の補助は。③幼保一元化と言われ、同様の教育を推進すべきと思うが。

【教育の充実に努力】
答 ①マニフェストを変更せず実行するのは難しい部分であるが、有効な施策ととらえている。②国の交付金等を活用し、支援する。③研究会を開催し、幼児教育の共有化を図っているが、一体的な一元化まで行っていない。幼児教育の充実に向け努力する。



寒空の中元気に遊ぶ園児（第一保育所）



来年度工事を予定している大縄堀踏切

問 平成19年度から5カ年計画で行っている本宮市街地地区都市再生整備事業は、国土交通省のまちづくり交付金を活用した事業である。

①3カ年が経過し現在の進捗状況は。

②まちづくり交付金が地方移管された場合の対応は。



答 ①平成19年度からの総事業費22億9千万円に対し、進捗率は63%である。

②まちづくり交付金制度は、国が事業費の最大4割を負担するものであるが、来年度以降は詳細が明確でないため、今後とも国の動向を注視しながら対処する。

Q まち交が地方移管された場合は

A 国の動向を注視していく

三瓶裕司 議員

問 本宮駅舎を借上げ保存しては

①現在の本宮駅は、明治20年に建築され歴史的にも価値がある。市がJRから駅舎を借上げ、本宮の玄関口、歴史の顔として保存し生かす考えは。

②駅前拠点施設整備を含む、中心市街地活性化協議会の基本計画案策定の進捗状況は。

答 ①JRへ要望はでき、JRが改装なり新設するものであるが、駅利用促進検討委員会中間報告にも表記されており、JRへ要望する方法はある。

②中心市街地活性化協議会の事業は、駅周辺整備構想も踏まえ、どれが一番良いのか検討している。

問 白沢地区の塩ノ崎の大桜は樹齢600年、樹高約20メートル、幹周り7・2メートルの素晴らしい桜で、県内外から多くの観桜客が訪れている。しかし、駐車場、トイレもなく不便であり、環境整備を早期に行う考えは。

答 大変な老木で樹高も立派であり、平成17年には県の天然記念物にも指定され、市が誇る名木のひとつである。地元の保存会の方々の日々の管理に感謝している。今後の環境整備は、地元保存会の方々と協議しながら努力していきたい。

問 全国的に少子化が進んでおり、将来にわたり心配することが現実になってきている。本市でも新生児に祝い金を支給すれば、出生率の向上と人口増加につながると思いが市長の考えは。

答 新生児に係る部分は、今後の検討課題であると思うが、現在、小学6年生までの医療費の無料化など助成拡大が行われているため、現時点では祝い金の支給は考えていない。



Q 塩ノ崎の大桜の環境整備を

A 地元保存会と協議する

川名藤太 議員



春の訪れを待つ塩ノ崎の大桜

問 上ノ橋は、昭和32年に架け替えられ、50年以上が経過し老朽化が激しい。旧4号線、県道二本松・金屋線の間にある交通量が多いが、歩道も大きく大変危険である。白沢地区から本宮市中心地への幹線道路でもあり、上ノ橋整備の進捗状況は。



Q

A 上ノ橋整備の進捗状況は
今年度、橋梁部の詳細設計を行う

雄民議員
分国

答 平成18年9月に説明会を開催した。用地の測量も行っているが、若干遅れている。県では平成の大改修、本築堤とあわせ進めている状況で今年度、橋梁部の詳細設計を行う。災害等が発生しないよう、県へ早期着手、早期完成を要望していきたい。

問 太陽光発電設置へ助成導入の考えは

答 家庭用太陽光発電は、環境問題、新エネルギー問題など、地球温暖化による二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして注目されているが、本市での設置助成導入の考えは。

答 他市を参考に検討中
【他市を参考に検討中】設置者に1キロワット当たり7万円の補助がある。本市の地域新エネルギービジョン策定後に、他市で実施している太陽光発電設備設置の助成制度創設等も含め、新エネルギー対策を検討したい。



利用しやすい公共交通の構築を

問 4月1日からスタートした新交通システム、戸口から戸口の乗合タクシー、通勤通学を支援する市営バスと広域バスが運行して8カ月が経過した。現状をどのようにとらえ、今後どのような見直しを進めるのか対策を尋ねる。



Q

A 新交通システム現況と今度の取り組みは
地域に合った運行体系を構築する

太七議員
本議

答 利用率が当初の目標数値より低く、運行費を補正で対応してきた。今後、利用の多い高齢者や市民の声を聞きながら地域に合った運行体系を構築し、公共交通の役割を果たすための運行に努める。

問 少子高齢化対策は

答 少子高齢化社会がすでに現実となり、社会基盤の見直しは避けられない。官民挙げて充実した子育て支援、産みやすい環境の提供が不可欠である。また、長寿国として喜ばしい反面、核家族化による老老介護世帯の急増、事件・事故の対策は。

問 難問であるが解決に努力する

答 子どもを産みやすい環境づくりは住みやすい環境づくりでもあり、待機児童ゼロに努める。介護施設待機者は約150名。家族の苦労は理解している。今後、社協が小地域ネットワーク事業で高齢者の見守りを行う予定であり、協力し進める。



幅員が狭く老朽化が進む上ノ橋



ソーラーシステムを設置している市内企業

【問】デフレが宣言されるような経済不況化が進行し、市民の働く場、雇用や生活が厳しさを増していく中で、税の滞納者、とりわけ生活困窮者に対する対策を市はどのようなか、何を行っているのか。



【問】税滞納者の対策は
【答】早期対応で累積に歯止めを

円谷長作 議員

【答】11月現在、市・県民税、固定資産税等の市税未納者は2,552人で昨年並みであり、8月に対策のため未納者対策本部会を開き徴収方針を決めた。特に、滞納分を累積させない早期対応の実施や、月曜日の収納窓口を引き続き午後7時まで延長する対策を継続していく。

【地球温暖化の対応は】
【問】①気候変動枠組条約締約国会議（COP15）は、全世界が注目する中開催されているが、本市のCO₂対策は。
【答】②太陽光発電やLED発光ダイオードのモデル都市構想や奨励を取り組む考えはないのか。

【重要な課題と認識】
【答】①本市全体の20年度のCO₂排出量は、28万トンと推計している。電気の節電などできることから実践していただくよう普及活動をしている。
②市は、良好な日照条件にあるため、地域新エネルギービジョンの中での検討材料と認識している。



【問】国の農業政策変更への対応は
【答】情報収集に努めている

渡辺善元 議員

【問】政権が変わり、農業政策が変更されようとしているが、来年度の予算編成に向けた本市の対応は。国、県の動きなど情報収集は進んでいるのか。

【答】新たな政権のもとで農業政策の情報収集に努めている。国の情報が入ってきていない段階であるので、早く情報を収集し、市としてどういう農業政策を組み立てていくか努力したい。

【農道整備の進め方は】
【問】①国の事業仕分けで農道の整備は廃止となるが、本市への影響はどのくらいになるのか。
②合併時の基本構想になつてきた、一斗内・赤坂線を含む3路線の整備の進め方はどうなるのか。

【市道として維持管理】
【答】①農道の実施計画はなく、廃止となっても影響はない。現況は農道であつても全て市道として維持管理を進める。
②構想事業は、基本計画事業を優先しつつ取り組む事業となっている。財政運営の状況を勘案し、計画的に実施したい。



合併時の構想事業はいつに（一斗内・赤坂線）

問 原則として国の作成基準に準拠し、発生主義の活用及び複式簿記の考案の導入を図り、「貸借対照表」、「行政コスト計算表」、「資金収支計算書」、「純資産変動計算書」の4表による「新地方公会計制度」の本市の進捗状況と作成内容の公表は。

答 人口3万人以上の都市では、4表を20年度決算の実績をもとに21年度中に作成しなければならぬ。本市でも、作成に向け資料の収集、作成作業を行っている。データ入力など時間を要する作業であるが、年度末の公表に向け進めている。

問 ①市長の任期の最終年度にあたり、新年度予算に対する市長の「重点事項」、「重点施策」はどのようなものか。
②新年度予算ヒアリングに政府の事業仕分けのよう「市民」、「議会議員」の代表者を参加させる考えは。

答 ①大きな二本柱として「健康・子育て」、「農家の活性化が地域の活性化」、「駅利用5千人突破」を基本とし、幅広く展開行動をしたい。
②自治体では、国のような事業仕分けはなじまない部分があり、現在の予算編成で進める。



決算の財務書類の整備状況は A 年度末の公表に向け作業中

後藤省一
議員



5回の開催を教えた駅利用促進検討委員会

問 ①全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)が抽出方式に切り替わる公算が強いと思うが、その対応の基本的な考え方は。
②保護者の7割が学校別成績の公表を求めているが、市の教育委員会の対応はいかに。

答 ①平成22年度調査の詳細や抽出調査の対象校も定まっていない。わかり次第対策を検討したい。
②学校の自主的公表以外認めない文部科学省の方針を受け、公表を差し控えている。分析を行い、学校全体の学力向上に取り組んでいる。



全国学力テストの対応は A 詳細が分かり次第検討する

川名正勝
議員

問 ①本宮駅利用促進検討委員会は何回開かれ、どのような意見、アイデアが出ていたのか。
②市長は様々な会合の中で「5千人の乗降客を実現するとエレベーターが付くかもしれない」と言っているが、その信憑性は。

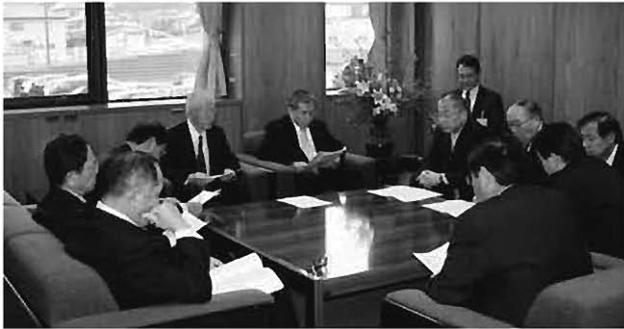
答 ①昨年の5月から5回開催し、ソフト面、ハード面の提言をいただいた。提言をできるだけ実行に移したい。
②交通バリアフリー化整備費補助金は平成22年度までの設定であるが、期間延長等については、国の方針が示されていない。



子育て支援は新年度予算の大きな柱(えぽか)

新年度予算編成に対し要望書を提出

本市では、自主的財政健全化計画を策定し、効率的かつ効果的な財政運営に努めているところですが、一昨年来の景気後退による税収の落ち込みや合併時の重要課題への取り組み等により、さらに厳しい財政状況が続くことから、市長に対して12月3日に予算編成に対する要望書を提出しました。



要望の主な内容

○総務文教常任委員会

- ・経済状況や国の制度変更を的確に捉え、自主的財政健全化計画を堅持した適切な財政運営を図ること。
- ・協働のまちづくりを推進するため広報・広聴活動の充実を図ること。
- ・耐震診断に基づく学校施設等の耐震補強工事の計画的な推進を図ること。

○生活福祉常任委員会

- ・将来的にも持続・安定した保険基盤が維持できるよう適切な国民健康保険事業の運営を図ること。
- ・ごみの減量化・資源化に対する取り組みの強化を図ること。
- ・子育て支援団体の育成、協力体制の充実を図り、子育て支援事業を計画的に拡充すること。

○産業商工常任委員会

- ・中心市街地活性化の具体的計画の推進を図ること。
- ・新交通システム体系の更なる利便性の向上を図ること。
- ・農業基盤の確立、遊休農地・耕作放棄地の解消に努めること。

○建設水道常任委員会

- ・道路・水路・橋梁等の修繕が一時期に集中しないよう、計画的な投資を行うこと。
- ・阿武隈川本築堤事業や都市計画道路整備事業推進のため、積極的な支援と国・県に対して要望活動を行うこと。
- ・立石山浄水場の早期改修並びに老朽水道管の改良を図ること。

問 ①スクールソーシャルワーカー(SW)を国・県の補助を受けて2年実施し、良い成果をあげていると聞けが、専門職と位置づけ全国に発信すべきでは。

②「読書のまち」を宣言し、国民読書年の事業の展開を図るべきでは。

③専門職である図書館司書の増員は。

答 ①本市には20年度から取り組んできた実績がある。他の市町村の参考になればいろいろな方法で発信したい。

②国の事業仕分けとは別に、必要な読書運動を進める。

③司書の増員は今後の課題。子ども司書を育成している自治体もある。

問 「新型インフルエンザの取り組みは」

①発症の実態の把握や対策をどのようにとらえているのか。

②住民の相談窓口は。

③乳幼児に重い細菌性髄膜炎を引き起こすインフルエンザ菌b型を予防するヒブワクチンの接種の費用を助成すべき。

答 ①幼稚園、保育所、小中学校は教育委員会を通じて、市民は任意で市役所に連絡をいただいている。②インフルエンザ対策本部を設置し、「えほか」の保健課で対応している。③接種による健康被害など救済措置の問題があり、今後検討が必要。



Q

子どもに光を当てた教育の確立を

A SWの取り組みを発信したい

川名 順子 議員



新型インフルエンザワクチンの集団予防接種 (えぼか)

岩根小学校6年生が議会を傍聴しました

岩根小学校6年生の児童の皆さん21名が、12月8日に社会科学習の一環として、議会の傍聴に訪れました。その中のお二人から傍聴感想をいただきました。

細矢 悠介くん

12月8日、ぼく達岩根小学校6年生は、本宮市役所で市議会を見学してきました。

市議会では、どんなことを話しているのか、どのように話し合いが行われているのかを、ぼうちよう席から見させていただきました。議会が始まる前と始まった後では、議員さんの表情も変わり、真剣に話し合いが行われていきました。

話し合いの内容は、「安全対策」、「自然エネルギー」など、様々なものでした。何よりも大事にされていたことは、「人の命」に関わることでした。もし、市議会がなければ、安全対策が乱れて、事故

なども増えてしまうとはくは考えました。市民にとって市議会は、とても大切な存在だということを知りました。

また、話し合いの仕方は、質問する人の話す時間が30分と決めてありました。決まった時間の中で、たくさんのお話があっても、それを短くわかりやすくまとめて議論していました。まちがえず、順序を考えていて、スムーズに話し合いが行われていて大変おどろきました。

市長さんや、副市長さん、議員のみなさん最初で最後だとは思いますが、市議会見学という貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございます。いい勉強になりました。学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思います。

菅野の 沙弥さん

12月8日、初めての市議会見学に行きました。話し合いは、どのように行われるのかなど、楽しみながらそのときを待ちました。

この日に、話し合われていたことは、「子どもたちが通る道に危険はないのか」や「自然エネルギーについて」、「今後の農業について」などでした。どの話し合いも人々の安全や生活を守る内容でした。

話し合いの中で、質問する人の話すことが出来る時間は30分です。話し合いの様子をよく聞いてみると、質問をする人、答える人、そして議長さんの進行でスムーズに話し合いが進んでいきました。私だったら、こんなに素早く自分の意見はなかなか言うことは出来ません。議員さん一人ひとり、よく考えているんだなと思いました。また、話し合いの中で、意見の

ある人は必ず手を挙げて、自分の意見を言う所がきちんとしているなと思いました。このような姿は、私たちも心がけていきたいと思いました。

今日の市議会では、たくさんのお話が初めて分かり、良い勉強になりました。この市議会に行つたことは、大人になっても忘れることのない大切な思い出になったなと思いました。

市議会のみなさん。これから市民の願いをかなえてすてきな本宮にしていってください。ありがとうございます。

ありがとうございました。



議会を傍聴した岩根小学校6年生のみなさん



12月定例会を傍聴された方は49人でした。
今回は、その中から平 勝治さん(和田字下
白旗)に傍聴の感想をお聞きました。



平 勝治さん

念願だった議会傍聴が12月7日に叶えられました。初めて入る議場の傍聴席に入るとやや緊張する思いでした。

議員の方々の市民の要求や、市の将来像、問題点など市当局との質疑応答に真剣に取り組んでいる姿を目にすることができました。

ただ、質問の主旨がはっきりしない、答弁も焦点をぼかしたり、中途半端とも思われる答弁もあり、誠に残念でした。

議員の方々も質問するだけでなく、ことによっては自分の考えを述べ、当局の姿勢、考えをただすことも必要ではないでしょうか。欠席している議員も見受けられたようですが、議会だよりで出欠状況などを報告してはと思います。



あとかき

雪の元日で新年を迎え、一面の銀世界に身の引き締まる思いでありました。

昨年の政権交代に伴う、国の政策の見直しなど、大きな社会変化の中にあり、人と暮らしを守るのが重点政策であります。

本市でも、厳しい現況でありますが、今年一年暮らしやすい世にしたいと誓った年頭でありました。

議会広報も委員の改選があり、見やすい紙面づくりに努めておりますので、市民の皆様の一層のご支援とご指導をよろしくお願いたします。
(善)

議会を傍聴してみませんか。

3月定例会は3月上旬
開会予定です

議会事務局

Tel 33-1111
(内線301)



当誌紙面等に100%再生紙が採用されています。